

ワークショップ(仮称)中央図書館をつくろう2

豊中市では令和10・11年度に(仮称)中央図書館の開館を予定しております。

本市初の「中央図書館」の具体化に向け、これまでお寄せいただいた市民の皆さまのご意見やアイデアを整理し、今年度策定する「(仮称)中央図書館整備計画」をまとめるため、グループ討議や意見交換中心のワークショップスタイルで開催(3回連続)することになりました。

◆ 10月27日(日曜)のようす(参加人数=16人)



時 間	内 容
10:30~	☐ 諸室のあり方・関係性について(説明) ☐ 「豊中市の図書館活動」はじめ情報発信の取り組みについて(説明)
10:55~	☐ グループワーク: 諸室のあり方・関係性について(発表者をえらぶ)
12:05~	☐ グループ発表・グループまとめ
12:29~	☐ 今後のスケジュール ☐ 参加者アンケート記入

タイムテーブル 10:30~12:30

ワークショップの目標

- アンケートやワークショップで得た意見やアイデアを整理し、整備計画にまとめる。
- 基本構想の内容や(仮称)中央図書館のサービスなどについて皆さんと共有する。
- 中央館の役割や機能を踏まえて、サービスや諸室のあり方について意見交換する。

<まとめ: 諸室のあり方・関係性に配慮して、みんなの「わたしの図書館」を実現する>

前回のサービスに関する意見整理を受け、諸室のあり方や関係性について、1月に実施したワークショップやアンケートの意見・アイデアを踏まえて意見交換しました。諸室の機能相関図(2フロア構成を想定)をもとに検討し、吹き抜けの活用やエレベータなどの移動装置の設置によりフロア間のつながりを持たせることや、音に配慮したゾーニングを導入するほか、さまざまな市民の生活時間に対応できるエリア設定など、諸室のあり方・関係性を示す提言がありました。

中央館の計画の具体化に向け、本ワークショップでの整理内容を考慮し、(仮称)中央図書館の整備計画において、諸室のあり方や関係性について方向性を示すことにします。

10月27日 配付資料リスト

1. 説明資料(情報発信)
2. 説明資料(全体)
3. 諸室検討参考シート
4. 基本構想【概要版】
5. みらいプラン【概要版】
6. 参加者アンケート
7. 前回報告資料
8. 教育委員会 X 案内チラシ

27日は「情報発信」をテーマに情報提供。前回のワークでも中央館で充実する機能として提言のあったテーマです。『豊中市の図書館活動』による年次活動報告に加え、図書館 web サイトや SNS を活用した情報発信の取り組みなどを中心にお話ししました。SNS で発信する際のハッシュタグの効果的な付け方についてアドバイスをいただきました。

＜グループワーク＞

中央館でのごし方
中央館に必要なものやこと

- 図書館の**根本的なサービス**をおろそかにしない。
- 個人で集中できる学習環境や仲間と学習できる場など、中高生から一般までの利用を想定した**フレキシブルな**自習室・学習スペースの設置を望む声があった。
- 授乳室やくつを脱いでくつろげるスペース、声を出しても迷惑にならない空間など、**親子で利用しやすい環境の充実**を望む声が寄せられた。
- 情報発信やイベント開催、打ち合わせのほか、様々な用途に対応できるオープンスペースを設けるとともに、そこを中心にスペースが**ゆるやかにつながっている**イメージの提案があった。
- 図書や情報だけでなく、行政サービスにつなぐ役割、**他施設との連携**機能をはたすことに期待する意見もあった。
- トイレやエレベーターなどの施設面でのバリアフリー、障害者用資料や対面相談室など障害のある人の図書館利用や読書を支援する取組みのほか、赤ちゃんから高齢者まで**多世代の出会いの場**として図書館をとらえる考えも示された。

これらの成果を踏まえる

1月に実施したワークショップでは、個人の立場や公共的な視点から、諸室のあり方と関係性について参加者で意見交換を行いました。その時の内容をふり返り、今回のワークの出発点にすることを最初に確認しました。

続いて、諸室のつながりを示す機能相関図について他市事例を参照し、中央館をイメージした図案をもとに3グループに分かれて検討しました。グループ発表を行い、各グループの成果を参加者で共有するとともに、再度グループで意見を交換しました。

ワークでの意見 A グループ

- （静寂）聴覚・視覚など感覚過敏の方がいる。静寂読書室だけでなくそういった方のためのセンサリールームを設けてほしい。（庄内の静寂読書室は白い壁や照明が明るすぎる。）駅前にもそういう方達が安心して過ごせる避難場所があるのは良いと思う。
- （ワークブース）仕切りのある席は必要だが、本を読む、仕事をする、など用途を限定せずなんでもできる方が良い。仕事専用とするのであれば、近隣の中央公民館等に設置してはどうか。
- （キッズスペース）豊中市には児童館がないので、親子で時間を過ごせる場所であると良い。
- （キッズスペース）キッズスペースなどは民間を誘致する、他部署を引き込むなどして他フロアに設置し、できるだけ図書館本来の機能を多く置く方が良い。
- （上記に関連して）限られたスペースに要望のすべてを盛り込むことはできない。詰め込みすぎず、図書館に必要な機能を配置する方が良い。
- YA コーナーは必要。
- 総合窓口の辺りに外国人向けのコーナーを設置する（生活情報なども置いて労働者、留学生もフォローする）。
- （上記に関連して）岡町図書館にある世界の子どもの本の部屋をもっと目立つ場所に配置し、大人向けの本も置くと良い。
- 時事問題（社会問題）コーナーを設置する。



ワークでの意見 A グループ（続き）

- （郷土資料コーナー）古文書等を開架で置いてほしい。
- （郷土資料コーナー）峠三吉の石碑や兄弟都市沖縄市と関連して、平和啓発資料コーナーがあると良い。
- （新聞・雑誌）朝から読みに来る人が多いので外に配置してはどうか。将来的に紙の新聞や雑誌は淘汰されていく可能性があり、別の用途に転用できるようにすると良い。
- （書庫）限られたスペースなので、閉架書庫にこれだけ取るのはもったいない。たとえば今の岡町図書館を書庫として残すのはどうか。
- 屋外に開放スペースを設けても使えない季節が多く、メンテナンスにコストがかかる。→一時的に少し屋外に出られるようなスペースがあると良い（デッキ）、その程度で良いのでは。
- 集会室、研修室、講座室（保育室）など市民活動のための部屋は必要だが、パーティションを使って部屋の大きさを柔軟に変えられると良い。図面上の研修室と自学自習室は入れ替えて、ひと続きの部屋として使えると良い。ガラス張りなど見えるスペースであっても良い（催しによってはオープンに、会議などはカーテンで隠すなど）。
- 交流スペースはオープンなスペースにあって、そこでイベント等を行うのも良い。
- 静寂とにぎわいをワンフロアの中で分けるのではなく、上下階で分ける。→一般開架ゾーンに開架閲覧（成人室）（レファレンス資料）を置き、児童開架ゾーンと集会室等の部屋をワンフロアにする。
- （上記に関連して）図書館専用のエスカレータかエレベータがあると良い（建物の EV がフロアから行きやすい場所にあれば不要）。
- 全国の最新の図書館をベンチマーク、市内の図書館についても良かった箇所、悪かった箇所を参考にする。一覧にして合意形成を図るなどすれば効率的では。
- 商業施設との併設なのであればそういった図書館を参考にとすると良い。ex)徳島県徳島市はこらいふ図書館
- 予算ありきで考えるのをやめ、図書館だけのみらいプランではなく市全体として他部署とも連携して考えてほしい。
- ふるさと納税でお金を集めて、返礼品にプレオープンツアーや書庫ツアーなどを開催してはどうか。
- ワークショップに参加する人は何か言いたいことがある人なので、そうではないいろいろな人の意見を聞くべき。集めるのではなく、若者がいる場所や障害者の話を聞くためにその場所へ出向いた方が良い。
- 現在優先候補地である土地をすべて使って、建物だけでなく公園などを作ったりランドマーク的な施設ができると良い。
- 図書館は住みたい場所の決め手ともなる。長いスパンで見て近隣他市に比べ、負け組になるのではと心配している。
- 現在の建物を残し、リノベする、アニメや演劇などを学べる学校、通信制高校などを置き、昼間から若者が集まる場所にする。卒業生がいずれ文芸センターで公演する。（それが曾根を文化エリアとすることにつながる）
- 岡町図書館がなくなれば岡町の発展が止まり、商店街の活性化も今後難しくなる。

ワークでの意見 B グループ

- 1 階と 2 階で静かな場所とにぎやかな場所（フリーなフロアと静かなフロア）がわかれている方が使いやすい。
- オープンスペースで大きなホールがほしい。扉を開けて入るといのは敷居が高く感じる人もいるので、話を聞きたいなら緩く参加できるようなスペースがよい
- 郷土資料コーナーについて：古いもの（昔の豊中）だけでなく、今の情報も必要。多文化サービスや豊中の情報がわかるコーナーに。
- 集会室を使っていないときは、自学自習スペースにしてほしい。
- 室名は、もう少し考えた方がよい。名前によって行動が決まってしまう。
- 10 年、20 年たつと電子書籍も充実すると思う。開架の閲覧室でオーディオブックを聞けるようにした方がいいかも。
- カフェなど飲食スペースや新聞・雑誌コーナーは図書館の中でなくてもいいのではないかな。新聞は電子化されるのではないかな。→図書館では紙ベースも残す。
- 対面朗読室の場所について：防音使用になるなら、音は気にならないので 1 階に設置してはどうか。（オーテピア高知「音と点字の図書館」を例に出されていた）利用する方の意見を聞いてほしい。
- 対面朗読室の場所について：視覚障害者の方は 1 階部分の方が使いやすいのではないかな。また、入口にある方が一般の方にも対面朗読サービスのことがわかる。
- 授乳は時間がかかるので、室が 1 つだと足りない。（重なることも）
- 「未来ゾーン」という形でコーナーの一部でもいいので、子どもたちに決めてもらってもいいのでは。
- コピー機は市民活動をするときに、近くにあったらうれしい。
- ベビーカーで来られる利用者もいるので、こども室は下層階にあるほうがいいのではないかな。
- 図書館のシンボルをどこかに置いてほしい。（ex:吹田市の健都ライブラリーの新幹線など）
- 学生が勉強する場所（自習スペースなど）は夜遅くまで使えるようにしてほしい。
- YA コーナーは自習室とミックスしてはどうか。
- 予約資料の置き置き場所は入り口付近にすると、予約資料だけ借りて図書館の中にきてもらえない。受け取る場所を選択できるようになればいい。
- zoom で司書と話ができるようにしてほしい。（zoom でレファレンスなど）
- 図書館の使い方座談会のようなことをしてもらえたらいい。
- 中央図書館とともに地域の図書館も充実してほしい。
- 若い人の意見を聞いてほしい。
- 若い人は、ワークショップなどにもなかなか来てもらえないので、出向いて意見を聞いてほしい。意見を聞いたりアンケートをする専門の人（機関）に依頼して話をきいてはどうか。
- 基本設計が決まったら、再度ワークショップをしてほしい。
- 窓の位置や採光はどうなるのか？→建設地が決定してからでないと決定できない。



ワークでの意見Cグループ

- 豊中市を知ってもらうスペースが必要。ゆかりの人の資料を常設したい。
- トイレの配置も大切。
- 図書館が開くの待つあいだ待機できるスペースが欲しい。
- 災害時に安全に避難できるよう館内をレイアウトする必要がある。
- AV視聴室がある。一方で、スマホなどの端末で個人視聴できる環境が整っていくから、通信環境を充実させておけば、スペースを設ける必要性がないという意見もあった。
- 蔵書検索機だけでなく、インターネットや商用データベースを利用できるスペースが必要。携帯端末ではディスプレイが小さいため、一定の大きさの画面をみながら調べたい。オープンスペースのあたりに配置してはどうか。
- 若者向けの資料が何を指すのか不明確なため、ヤングアダルト向けの書架を別に設ける必要はない。学校図書館でも資料の扱いに困ることもあったと聞く。一般向けと同じで良い。
- 時間に余裕がなくても借りやすいよう、返却や予約受取コーナー近くに人気の本を置いておくスペースが必要。新刊コーナーでも良い。選書のための見計らい図書を一定期間並べて、新刊情報の代わりにしてはどうか。一方で、新刊情報は図書館に求めないという意見があった。
- 書架の配置は図書館内の空間が見晴らしよくなるよう工夫してもらいたい。
- 諸室のあり方を検討するには各フロアの面積や各室の規模など、具体的な情報が必要。設計担当者にも加わってもらい、実態に沿った話し合いをしたい。
- 大きな情報掲示板を設置してはどうか。全図書館の話題を一覧できるよう情報発信に利用してもらいたい。
- 図書館の2フロアを移動するために、階段だけでは不便。エレベータかエスカレータが必要。
- 全国的に吹き抜けによって各フロアのつながりを演出している。豊中市でも採用してはどうか。
- アンケート意見にあった大型遊具や運動施設は不要ではないか。
- 開架書庫というアイデアも検討して欲しい。
- 無料の駐車場という意見が複数あり、利用する立場にとっては重要なポイント。
- （意見聴取について）障害のある人や若者、子育て世代の人など、いろいろな人のところに出かけて意見を聞くことが必要。各図書館でも意見募集について、しっかり広報広聴しなければいけない。
- （意見聴取について）意見を聞いても散漫になるだけだから聞く必要はない。行政で進めることも大事。
- （今後の進め方について）パブリックコメントの前にワークショップの参加者に案の内容を示して、意見を聞いてはどうか。



お問い合わせ

豊中市教育委員会事務局 読書振興課

TEL 06-6843-4553(岡町図書館内)

Email okamachito@city.toyonaka.osaka.jp